

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

(令和6年度～9年度使用・小学校用)

令和5年 7月

目次

教	科	種	目	ページ
国	語	国書	語写	1 2
社	会	社地	会図	3 4
算	数	算	数	5
理	科	理	科	7
生	活	生	活	9
音	楽	音	楽	11
図	画	図画	工作	12
家	庭	家	庭	13
体	育	保	健	14
外	国	英	語	16
特別の教科	道徳	道	徳	18

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 光村図書 ）
内 容	<p>○第2学年以上の巻頭に「国語の学習の進め方」が示されているとともに、各単元では「見通す」「取り組む」「ふり返る」の学習の流れが示されている。</p> <p>○「環境教育」に関連する教材として「発信しよう、わたしたちのSDGs」（第6学年P170）や「郷土愛の育成」に関連する教材として「地域のみりよくを伝えよう」（第5学年P58）を取り上げている。</p> <p>○第1・2学年を除き、巻頭に「デジタルノートの作り方」が掲載されており、一人一台端末を活用するための工夫がされている。</p> <p>○第1学年上巻を除き、巻末の付録に「デジタル資料を活用しよう」が掲載されており、児童が主体的に学習できる工夫がされている。</p>	<p>○各単元の終わりに「見通しをもとう」として、「たしかめよう」「くわしくよう」「まとめよう」「つたえあおう」の学習の流れが示されている。</p> <p>○「環境教育」に関連する教材として「雪は新しいエネルギー」（第6学年上巻P38）を取り扱うなど、SDGsにかかわるテーマを取り扱っている。</p> <p>○「郷土愛の育成」に関連する教材として「すいせんしよ『町じまん』」（第5学年上巻P58）を取り上げている。。</p> <p>○第4学年上巻P64～「いろいろな手紙」では電子メールの作り方を扱っており、現代社会において必要な内容を取り上げている。</p>	<p>○第2学年以上では巻頭に「どうやって学んでいくのかな」として学習の進め方が示されているとともに、各単元では「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」の学習の流れが示されている。</p> <p>○第2学年下巻P48～「おもちゃのつくり方を説明しよう」は児童の生活に合った題材であり、プログラミング的思考を育む題材である。</p> <p>○第5学年P227～「大造じいさんとガン」には、前書きがあり、内容把握のために工夫されている。</p> <p>○第1学年上巻を除き、巻末に「言葉のたから箱」が記載され、自分の考えや気持ちを表現しやすくする工夫がされている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第2～6学年のP6～7「言葉の力を集めよう」に、各教材で身に付ける言葉の力が一覧で載っている。</p> <p>○巻末の「学習でつかうことば」では、国語の学習において身に付けるべき語彙が掲載されており、端的に説明されている。</p> <p>○各単元の終わりの「生かそう」では、学習したことを活用する方法が示されており、他教科へも学習が生かせるよう構成が工夫されている。</p>	<p>○全学年のP4～「○年生で学ぶこと」で、各領域ごとにどのような学びをし、どのような言葉の力を付けていくか示されている。</p> <p>○巻末の「学ぶときに使う言葉」では、国語の学習で身に付けるべき語彙の意味が詳しく掲載されている。</p> <p>○第2学年下巻のP20「この間に何があった？」や第6学年上巻のP38「雪は新しいエネルギー」のように、絵、図、表、写真等が、学ぶ内容に応じたものが配置する工夫がされている。</p>	<p>○第2～6学年の巻頭「○年生で学ぶこと」で、各領域ごとに学年で身に付けたい力が示されている。</p> <p>○巻末の「学習に用いる言葉」では、国語の学習において児童が身に付けるべき語彙が掲載されている。</p> <p>○単元の最後にある「たいせつ」はポイントを絞った簡潔な言葉で表現されており、単元で学んだ学習の要点や大切なことを確認できる。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ハテナとコトハというキャラクターや4人の登場人物が学習のポイントを伝えていて親しみやすい。</p> <p>○第1学年上巻P58～「ねことねっこ」では、たたいてみよう（どうが）や手をたたく・にぎる図が表記され、視覚的にイメージしやすい工夫がされている。</p>	<p>○ふくろうのキャラクターや6人の登場人物が学習のポイントを伝えていて親しみやすい。</p> <p>○第1学年上巻P28～「くまさんと ありさんの ごあいさつ」では、声の大きさを表現するために文字の大きさを変えていて分かりやすい。</p>	<p>○単元の終わりにある「たいせつ」や「生かそう」など学習のポイントを示すために簡単な印を使い、ポイントを押さえやすいように工夫している。</p> <p>○第1学年上巻P78～「はおへを つかおう」では、パズルのピースの絵になっており、児童が視覚的にイメージしやすい工夫がされている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第1～4学年は上・下巻に分かれているが、第5・6学年の教科書は通年のもので、分厚く重い。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが用いられている他、番号や色遣い、文字の太さを工夫してある。</p>	<p>○全学年の教科書が上・下巻に分かれているため軽い。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮しており、見やすさ読みやすさに配慮したオリジナルフォントが用いられている。</p>	<p>○第1～4学年は上・下巻に分かれているが、第5・6学年の教科書は通年のもので、分厚く重い。</p> <p>○文字や色がユニバーサルデザインに配慮されている。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 書 写 】

	発行者（東京書籍）	発行者（教育出版）	発行者（光村図書）
内 容	<p>○第2学年から第6学年において、本時に学ぶ大事なポイントを「書写のかぎ」として記載することで、知識及び技能を身に付けやすくしている。</p> <p>○第3学年のP4～P7で、毛筆についての道具の説明や筆の置き方、筆のもち方、姿勢が4ページ分に渡って丁寧に記載されており初めての毛筆の学習に対応できる内容になっている。</p> <p>○第3学年P22のように、理由や違いを考えたり話し合ったりする活動が設定されており、課題発見や把握につながっている。</p>	<p>○巻頭の「学習の進め方」では、記号だけの振り返りではなく、めあてに気を付けて書けたかを友達と伝え合いながら振り返る活動が示されている。</p> <p>○第3学年のP6～P12で、毛筆についての道具の説明や置き方、筆のもち方、姿勢が7ページ分に渡って丁寧に記載されており、初めての毛筆の学習に対応できる内容になっている。</p> <p>○第6学年のP40「思い出に残る言葉を書こう」では、作品完成のイメージがしやすく、小学校の書写のまとめの学習としてふさわしい。</p>	<p>○第5学年P34のように、6年生を送る会を題材とするなど、実生活と関連づけた内容になっている。誤った書き方が載っており、児童が正しい書き方を意識しやすい。</p> <p>○第3学年の巻頭に、毛筆についての道具の説明や置き方、筆のもち方、姿勢が12ページ分に渡って「毛筆スタートブック」として、丁寧に記載されており初めての毛筆の学習に対応できる内容になっている。</p> <p>○第3学年の巻頭に「書写の約束」「書写たいそう」P11に「整理たいそう」など、児童の興味を引き付ける内容となっている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○「書写の学び方」として、「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」という学習の流れを設定するなど、「板橋区授業スタンダード」の流れに沿っている。</p> <p>○筆使い、筆順、字形、文字の大きさ、配列などが学年の発達段階に応じて、適切に掲載されている。</p> <p>○第2学年で連絡帳の書き方、第6学年ではポスターの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○「学習の進め方」として「つかむ・考える」「確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」という学習の流れを設定するなど、「板橋区授業スタンダード」の流れに沿っている。</p> <p>○第3学年以上でも、毛筆だけでなく硬筆の指導も入っている教科書のつくりになっている。</p> <p>○第2学年では招待状の書き方、第6学年ではリーフレットの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○毛筆スタートブックの中の「学習の進め方」として「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」という学習の流れを設定するなど、「板橋区授業スタンダード」の流れに沿っている。</p> <p>○第3学年の毛筆書写が、横画（一）→たて画（土）→おれ（日）とシンプルに発展しているため、毛筆書写を始めやすい系統性になっている。</p> <p>○第2学年では連絡帳の書き方、第6学年ではパンフレットの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○始筆、送筆、終筆において、とん、すう、びたなどと表記しており、児童にとって分かりやすい。</p> <p>○筆順の数字や大切なポイントがカラーで示されている。</p> <p>○毛筆の手本となる字が共通し、左側に掲載されている。</p>	<p>○第3学年P11の筆圧の合い言葉「ちゅん・とっ・とん」は動物のイラストと合わせてあり、親しみやすい。</p> <p>○穂先が朱色で書かれており、穂先の向きや通り道が分かりやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○1ページに手本が大きく掲載されている。また手本の文字には書き順やポイント等の記載がなく、シンプルで見やすい。</p>	<p>○第1学年から第6学年までねこのキャラクターが用いられており、親しみやすい。はねやはらいをねこの動きのイラストによって意識できる。</p> <p>○穂先が朱色で筆先の動きがわかりやすい。</p> <p>○ページが上部に表記されていて、机上に多くの道具を置く書写の教科書として使いやすい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○「生活に広げよう」のページを活用して、国語や総合的な学習の時間とのつながりを意識した学習展開ができるようになっている。</p> <p>○一単位時間の内容が主に見開き1ページで構成されている。</p> <p>○各学年のP1には「もくじ」が掲載されている。その上段部には、「おかしな〇〇」の欄が掲載され正しく書いてないと子どもが困っている場面になっている。書写を学習する意味が伝わるものになっている。</p>	<p>○手紙の書き方、原稿用紙の使い方、新聞の書き方等の資料などが掲載されているので、他の教科の学習の参考になる。</p> <p>○第3学年P15のように、硬筆でも試し書きとまとめ書きを比較できるよう、書くスペースが設定されている単元がある。</p> <p>○第3学年の表紙を開いた次の項には「なぜ毛筆を学習するの?」ということが漫画で紹介されており、書写を学ぶ必然性について児童が読んで分かるようになっている。</p>	<p>○日常につなげる取組として、第6学年の書写ブックに「手紙の書き方」「はがきの表書き」「げんこう用紙の使い方」等が分かりやすくまとめられている。</p> <p>○第3学年以上の「タブレットを活用しよう」には、毛筆で書いた文字を撮影して、自分の課題を見付けるという学習の仕方が載っている。</p> <p>○第1学年と第2学年の巻末に、水筆で練習できるページが掲載されている。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 社 会 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 日本文教出版 ）
内 容	<p>○「つかむ」→「調べる」→「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○「まとめる」の段階で、それぞれ「新聞にまとめる」「プレゼンテーションソフトを使ってまとめる」「調べたことを整理して考えをまとめ話し合う」など、まとめ方の具体例やその表現の仕方等が分かりやすく示されている。</p> <p>○第3、4学年の巻頭には地図帳の使い方と特徴が詳しく書いてあり、指導しやすい。</p>	<p>○「つかむ」→「調べる」→「まとめる」→「つなげる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○単元の最後の「つなげる」では、自分の暮らしを見直したり、地域の課題を解決したりできるような時間が設定されていることで、学びを深め、思考を広げることができるようになっている。</p> <p>○板橋区について、第3学年「事件や事故からまちを守る」P114～115、120～121で記載がある。</p>	<p>○「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追及・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○現在の諸問題として「未来につなげるわたしたちのSDGs」として単元の学習を終えて、もっと詳しく調べてみたいことなどをSDGsと関連付けて取り上げたページがどの学年でも設けられている。</p> <p>○板橋区の取組が、第3学年の「未来につなげる」P92～93の中で紹介されている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○基本的に、その日の活動が見開きページで完結するようになっているので、教師も児童も見通しをもちやすい。</p> <p>○第6学年の外国の扱いが、ヨーロッパ州1、アジア州1、北アメリカ州1、南アメリカ州1でバランスが良い。</p> <p>○第5学年下P122～125のように、「ひろげる」「いかす」といった発展的な内容が、各単元で適切に設定されている。</p>	<p>○第6学年の歴史学習の導入では、P72のように歴史の学び方についてのページを設け、児童が歴史学習の仕方が分かるように構成している。</p> <p>○第6学年の外国の扱いが、アジア州1、北アメリカ州1、南アメリカ州1で、ヨーロッパ州が取り上げられていない。</p> <p>○第5学年P201、207のように、「つなげる」「もっと知りたい」といった発展的な内容が設定されている単元がある。</p>	<p>○「学習の計画」で「調べたいこと」「調べ方」「まとめ方」等が整理されており、教師も児童も学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○第6学年の外国の扱いが、アジア州2、北アメリカ州1、南アメリカ州1で、ヨーロッパ州が取り上げられていない。</p> <p>○「学び方・調べ方コーナー」で、手順が図解等で分かりやすく明記されていて、児童同士が考えを深め合うのに役立つ。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○下の学年ほど、資料や文字のサイズが大きく、発達段階に応じて見やすい工夫がされている。第5学年下P8のように、ページ下部に「教科関連マーク」があり、教科等横断的な学習に役立てることができる。</p> <p>○二次元コードの位置が見開き右ページの下方に固定され、読み取りがしやすい。</p> <p>○色が明るくとても見やすい。また、字体もユニバーサルデザインフォントを採用しており、とても読みやすい。</p>	<p>○第3学年、第4学年では写真やグラフが大きく見やすい。また、第6学年の歴史単元において、旧版の教科書では特に近現代史において白黒写真だったものが、ほとんどの写真でカラーに修整されている。</p> <p>○「まなびリンク」や各資料で二次元コードが掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点から太く丸みを帯びた字体を使用し、配色にも配慮している。</p>	<p>○社会科の学習のための様々な学び方について「学び方・調べ方コーナー」が掲載され、全ての掲載箇所二次元コードが付いている。</p> <p>○吹き出しについているイラストの分かったことと疑問のマークが全学年で統一されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点から太く丸みを帯びた字体を使用し、配色にも配慮している。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭に前年度に学んだこと、今年度学ぶこと、巻末に今年度学んだことを振り返るページがあり、全体の学習を見通せるように工夫されている。</p> <p>○第5学年は上下の2分冊、第6学年は政治・国際編と歴史編の2分冊構成とされ、軽量化が図られており持ち運びがしやすい。</p>	<p>○巻頭に前年度の学習の振り返り、学習の進め方、巻末に今年度の学習の振り返りのページがあり、全体の学習を見通せるように工夫されている。</p> <p>○分冊ではなく、全学年1分冊にまとまっていることで、学習の見通しがもちやすく、復習もしやすい。</p>	<p>○巻頭に今年度の学習、学習の進め方、巻末に今年度の学習の振り返り、次年度の学習のページがあり、全体を見通せるように工夫されている。</p> <p>○分冊ではなく、全学年1分冊にまとまっていることで、学習の見通しがもちやすく、復習もしやすい。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 地 図 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 帝国書院 ）	発行者（ ）
内 容	<p>○第3学年から地図帳を使った学習が行えるよう、巻頭で地図記号・索引・方位・縮尺の見方等の地図学習について、8ページにわたって図解している。</p> <p>○SDGsについてP96に17の目標の表を掲載している。</p> <p>○「ホップステップマップでジャンプ」というコーナーがあり、様々な視点から地図を活用するヒントがある。</p> <p>○地図だけでなく統計や災害についてなどの表やグラフも豊富にあり、第5学年・第6学年の社会科資料集のように活用できる。</p>	<p>○地図の成り立ちから、地図ってなんだろう、地図の約束、地図帳の使い方を14ページに渡って図解しており、地図の基礎的な知識や技能を解説している。</p> <p>○P125・126で世界のSDGsについて、世界の課題と、その課題に対する世界各地の取組を、写真資料を用いて紹介している。</p> <p>○「地図マスターへの道」という、地図を読み取る際のコツを伝えるコーナーが存在し、児童が主体的に学べる。</p> <p>○P99「日本の自然災害と防災」や歴史に関する資料等、授業で活用できる資料が豊富に掲載されている。</p>	
構 成 ・ 分 量	<p>○全102ページ（日本地図38ページ、世界地図14ページ、資料統計（日本）21ページ（世界）2ページ）で構成されている。</p> <p>○日本の歴史に関わる地図が年表と併せて4ページ（P77～80）にわたり7種類掲載されており、当時の日本と世界との結びつきを踏まえた世界情勢の特徴が、地図を用いて掲載されている。</p>	<p>○全132ページ（日本地図60ページ、世界地図14ページ、資料統計（日本）20ページ、（世界）4ページ）で構成されている。</p> <p>○「江戸時代の結びつき」街道を行き交う人々の資料（P55、56）、日本の歴史（P109、110）等、歴史関連の資料が掲載されている。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○フォントは丸みを帯びたゴシックで見やすい。</p> <p>○実際の距離を捉えさせるために、ものさしを活用して計測できるようにしている。</p> <p>○首都東京のページ（P45）に板橋区の一部が記載されている。</p> <p>○二次元コードがあることで、自学自習に役立つ。</p>	<p>○色覚特性に配慮した色づかいで、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>○実際の距離を捉えさせるために、ものさしを活用して計測できるようにしている。</p> <p>○世界の地図には、全てのページに写真資料が掲載されている。</p> <p>○二次元コードがあることで、自学自習に役立つ。</p>	
使 用 上 の 便 宜	<p>○サイズ（A4判）や重さは適切である。</p> <p>○目次には、どのような内容の資料なのかがすぐに分かるマークが示されている。</p>	<p>○サイズ（A4判）や重さは適切である。</p> <p>○P2には、「外国語活動でも地図帳を使ってみよう」と表記されていたり、SDGsに関連の深い資料にマークをつける（P108）等、教科横断的な活用を促すつくりとなっている。</p>	

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 算 数 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 大日本図書 ）	発行者（ 学校図書 ）
内 容	<p>○「たしかめよう」や「おぼえているかな」では、基礎的な知識及び技能を習得できるように配慮されている。</p> <p>○第3～6学年に1単元以上で「それなら次は？」があり、児童が今までに学んだことを生かした学習計画が立てられるようになっている。</p> <p>○虫眼鏡の記号等を用いて、数学的な見方・考え方が記載され、児童の思考力、判断力、表現力等を育む工夫がある。</p> <p>○「マイノートをつくろう」では、ノートの書き方が記載されており、「板橋区授業スタンダード」に沿っている。</p>	<p>○数と計算分野において、単元の間に「練習」ページが設定され、基礎的な知識及び技能が習得できる作りになっている。</p> <p>○「じっくり深く学び合おう！」では、問題解決型の授業が適宜設定されている。</p> <p>○第3～6学年には、単元ごとの「たしかめもんだい」において「学んだことを生かそう」があり、日常生活の中で算数を生かせる内容が取り上げられている。</p> <p>○全学年で「読み取る力をのぼそう」があり、「読み解く力」の育成につながる内容である。</p>	<p>○第2～5学年では、筆算のしかたについて、絵や言葉を使い、視覚的に分かるよう記載され、基礎的な知識及び技能を習得しやすい工夫がある。</p> <p>○「考え方モンスターでふりかえろう」では、本単元で大切にしたい数学的な考え方が示され、思考力、判断力、表現力等を育む工夫がある。</p> <p>○各ページの左端に？（めあて）、！（まとめ）、？（次の学びにつなげるはてな）と、問題解決方法が記載され、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○「算数パトロール隊」は、児童のよくある間違いを取り上げ、「読み解く力」の育成を図るのに適している。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第1学年では、どんぐりをつかったおもちゃ作りなど、共通した材料、場面を設定して数を数えるようになっており、生活科の学習で生かすことができる。</p> <p>○第6学年P114にデータを活用した問題解決方法として、PPDACサイクルが示されている。</p> <p>○発展的な問題に課題解決型の授業で取り組む「今日の深い学び」が第2～6学年に各1つ程度ある。</p>	<p>○第4学年の単元は「折れ線グラフと表」から始まり、また、第6学年に「円の面積」が1学期に配置される等、単元構成に特徴がある。</p> <p>○第6学年P84、85にデータを活用した問題解決方法として、PPDACサイクルが示されている。</p> <p>○第3～6学年には、「ふくろう先生のなるほど算数教室」として、算数の学習に興味関心を高められるような問題を掲載している。</p>	<p>○一単位時間のまとめの後に、「？」として次の学習内容につながる問いのある構成となっている。</p> <p>○全学年の巻末の「もっと算数」〔ふかめよう〕では、既習の学習内容を活用して解決する発展的な問題が掲載されている。</p> <p>○全学年に掲載されている「すじ道をたてて考えよう」では、プログラミング的思考を育む課題を扱っている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○一単位時間のめあてにあたる「？」とまとめが、他と同系色の緑で表記されている。</p> <p>○数学的な見方・考え方のヒントが吹き出しの形式で表記されている。</p> <p>○計算問題では、問題のうち数題が網掛けで表記され、短時間で基礎的・基本的な知識・理解が確認できる工夫がある。</p>	<p>○一単位時間のめあてが赤、まとめが青の線で囲まれており、区別しやすい工夫がある。</p> <p>○「ひらめきアイテム」として、巻頭に、数学的な見方・考え方の内容が発達段階に応じて表記されている。</p> <p>○第2学年からは演習問題の番号の一部が青い丸数字で表記され、短時間で基礎的・基本的な知識・理解が確認できる工夫がある。</p>	<p>○一単位時間のめあてとまとめが赤枠で囲まれて表記され、区別しやすい工夫がある。</p> <p>○第2～6学年において、「めあて」等に「しらべたいな」「考えたいな」「まとめたくな」等の表記があり、問題解決の方法が示されている。</p> <p>○ページの左端に矢印と学習内容の見出しで区切りを表しているためどの学習内容にあたる所か把握しやすい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第1学年「はじめよう！さんすう1－①」のみA4判、1年1－②以降の5年まではB5判の上下巻に分かれている。第6学年のみB5版1冊になっている。</p> <p>○全学年もくじのページに、「感染症」について記載されている。</p> <p>○第6学年付録にトレーシングペーパーの対称な図形があり、ノートに書き写すことができる。</p>	<p>○第1学年上巻はA4判、第1学年下巻から第6学年はB5判で、第2学年から第6学年は1冊で構成されている。</p> <p>○使用されているキャラクターには、外国人の子どもがおり、多様性に配慮されている。</p> <p>○第2～4学年では、「問題ごとに使い分ける考え方」をシールで貼れる付録がある。</p>	<p>○全学年AB版で、第1～5学年は上下巻に分かれており、第6学年のみ1冊で構成されている。また、第6学年には別冊が付いており、「算数で見つけた見方・考え方」「中学校へのかけ橋」が盛り込まれている。</p> <p>○第5学年以上の索引には、外国語の学習と関連させて、算数用語の英語表記も記載されている。</p> <p>○AB版の教科書のため1ページあたりの面積がB5版より大きく、教科書のページを開きやすい。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 算 数 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 啓林館 ）	発行者（ 日本文教出版 ）
内 容	<p>○単元末に「ふりかえろう」「たしかめよう」という既習事項の確認にあたる問題があり、基礎的な知識及び技能を習得できる工夫がある。</p> <p>○「はてな」「なるほど」「だったら」等の問題解決の学習の流れが記載され、児童の思考力、判断力、表現力等を育む工夫がされている。</p> <p>○巻末の「自分で取り組むページ」に習熟度に合わせた問題が記載され、児童が主体的に学習に取り組む工夫がある。</p> <p>○巻頭の「みんなで算数をはじめよう！」にある、教科書の学習の流れは「板橋区授業スタンダード」に沿っている。</p>	<p>○第2～5学年では「もうすぐ○年生」として、第6学年では「6年のまとめ」として、各学年における基礎的な知識及び技能を習得する内容の問題がまとめて掲載されている。</p> <p>○「見方・考え方を深めよう」では、日常生活に見られる算数を取り上げ、児童が主体的に学習に取り組めるように配慮されている。</p> <p>○各単元に「これから学習することのめあて」と「ふりかえろう」が記載され、単元で身に付けれる力を確認できる。</p> <p>○第3～6学年では巻末に「わくわくSDGs」において算数を生活に生かせる活動等が紹介されている。</p>	<p>○単元の導入で「次の学習のために」があり、児童が既習事項を適宜、思い出したり確認する工夫がある。</p> <p>○全学年に「自分でみんなで」が複数掲載され、身の回りの事象を取り扱った課題解決型の授業が設定されている。</p> <p>○第2～6学年巻末「算数マイトライ」では、習熟度に合わせた演習問題が掲載されており、主体的に問題解決学習に取り組める工夫がある。</p> <p>○第2～6学年に「算数ジャンプ」が掲載され、長文の文章を読み解き、身の回りの事象に対して既習事項を活用して解決する問題が掲載され、「読み解く力」の育成につながる。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第1学年では、数を数える学習で、アサガオの花や種の数調べる学習があり、生活科と関連した学習内容となっている。</p> <p>○第2～6学年の巻頭に「算数が好きになるはじめての一步」があり、児童が興味・関心を高められる構成となっている。</p> <p>○「算数ワールド」や「学んだことを使おう」では、身の回りの事象を取り上げた、既習事項を活用して課題解決を図る問題が掲載されている。</p>	<p>○第3学年の始めの単元が、「かけ算のきまり」の次に「わり算」という構成になっている。</p> <p>○算数に関わる身近な事象や発展的な問題が掲載された「算数ポケット」が設けられている。</p> <p>○単元末にある「学びのまとめ」の「学びをいかそう やってみよう」では、単元の学習内容を活用して解決できる問題が1題程度掲載されている。</p>	<p>○第3学年の始めの単元が、「かけ算のきまり」の次に「わり算」という構成になっている。</p> <p>○算数に関わる身近な事象が掲載された「なるほど算数」が設けられている。</p> <p>○「○○について話し合しましょう」等の問いがあり、対話的な学びを意識した構成になっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○新しく考える問題等に合わせて「はてな？」が表記され、児童が問題をつかみ自分の考えをもつための工夫がある。</p> <p>○計算問題では、問題のうち数題が青い網掛けで表記され、短時間で基礎的・基本的な知識・理解が確認できる工夫がある。</p> <p>○第6学年「対称な図形」、第4学年「立体」、第5学年「四角形や三角形の面積」等では4色程度の色で色分けされた図形が活用されており、区別しやすい表記になっている。</p>	<p>○一単位時間のめあてが赤字で、まとめが赤枠で囲まれて表記されており、区別しやすい工夫がある。</p> <p>○登場するキャラクターが主体的・対話的に学習している様子が表記され、児童の学習モデルとなる工夫がある。</p> <p>○見開きページの右上に単元名を表記しており、児童が学習内容を見通しやすい工夫がある。</p>	<p>○一単位時間のめあては赤の下線で、まとめが赤枠で囲まれて表記されており、区別しやすい工夫がある。</p> <p>○見開きページの右上に単元名を表記しており、児童が学習内容を見通しやすい工夫がある。</p> <p>○演習問題の番号の一部が緑の丸数字で表記され、短時間で基礎的・基本的な知識・理解が確認できる工夫がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○B5判で第1・5・6学年は1冊、第2～4学年は上下巻に分かれている。</p> <p>○第2～6学年巻末の「学び方の手引き」では、分度器等の道具の使い方や数直線図等の書き方が記載されている。</p> <p>○コンパスの使い方の動画が利き手別にあり、左利きにも配慮されている。</p>	<p>○B5判で、5・6年は1冊、2～4年は上下巻に分かれている。また、1年生には「すたあと ぶっく」（A4判）が別冊として付いている。</p> <p>○使用されているキャラクターには、車椅子、眼鏡をかけた子ども、外国人の子ども等があり、多様性に配慮されている。</p> <p>○第4学年の付録には分度器があり、第5学年の付録に「円周測定マシン」がある等工夫がある。</p>	<p>○B5判で、第1～4学年は上下巻に分かれており、第5・6学年は1冊の構成となっている。</p> <p>○第5・6学年の教科書にはしおり紐が付いている。</p> <p>○巻末の「学び方ガイド」は学習の流れが記載されており、また取り外して下敷きのように使用できる。</p>

令和5年度 検定教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 大日本図書 ）	発行者（ 学校図書 ）
内 容	○単元の始まりに問題をつかむページと問いかけがあり、課題解決をするために必要な思考力の育成につながる内容となっている。 ○「広げよう！理科の発想」や「理科の世界 探検部」などのコラムが豊富に用意されており、理科の学習と身近な生活との関わりが示されている。 ○巻末に「デジタルコンテンツで学びを広げよう」があり、紙面上の二次元コードの種類が一目で分かって便利である。	○巻末に「〇年のまとめ」が見開きでまとめられており、復習がしやすい。 ○話し合いの場面では、イラストでどのように話し合うのか、どんなポイントで話し合うのかが分かるようになっており、思考力を伸ばすことができる。 ○巻頭の「理科の学び方」から、児童が問題解決の流れを把握しやすくなっている、「〇年では特にココ！」のコーナーで、学年ごとに学ばせたい理科の力を提示している。	○問題解決のプロセスは、「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」の流れで統一されている。 ○第3学年P15のように問題解決のプロセスの過程が確実に行えたかどうか児童自らが確認できるようなチェック欄が付いている。 ○巻末の「考えよう調べよう」では問題の見つけかたや意見の伝えかた聞きかたが具体的に書かれており、思考力・判断力・表現力の育成につながる。
構 成 ・ 分 量	○単元の振り返りと確かめ問題が続きのページにあり、見やすくなっている、児童が使いやすい。 ○教科書の巻頭に、領域毎に学習する単元名が整理されていて、見通しをもたせやすい。 ○各学年ともに「理科とSDGs」「理科とプログラミング」のページが設けられており、他教科や発展的な学習につなげることができる。	○学年の発達段階に合わせた見方・考え方で単元が進められるような配列になっている。 ○事象提示を受けて学習前の児童の疑問、問題解決を経ての変化などがイラストを通して表現されていて、学習の見通しがもちやすい。 ○「Science World サイエンスワールド」のページがあり、中学校への接続や発展学習に生かすことができる。	○児童が興味をもって学習に取り組めるように、身に付けたい力が理科モンスターというキャラクターで表現されている。 ○「もっとしりたい」では、身近な暮らしと関連付けたり、発展学習に生かせたりできる構成となっている。 ○巻末に、理科室の使い方や道具（実験器具）の使い方が詳しく書かれている。
表 記 ・ 表 現	○デジタルコンテンツが豊富で、個別最適な学びに役立てられる。 ○活字が大きい。字体、行間、色調も適切である。 ○安全面の注意事項が、赤字吹き出し「きけん」で強調されている。また、「問題」と「まとめ」が緑色で統一され、重要語句が、太字、緑色の下線で強調されている。	○実験結果・道具の使い方等をデジタルコンテンツで確認でき、二次元コードは全てページ番号の横にあるので、児童が見付けやすく、使いやすい。 ○登場するキャラクターでは、人権に対する配慮がなされている。 ○第5学年「めだかのたんじょう」P46、P47で使われている誕生までの写真に、別角度からの写真も掲載されていて、たまごの変化の様子が分かりやすい。	○巻末に二次元コードでデジタルコンテンツの目次を見ることができ、一覧から動画や確認テストを開くことができるようになっている。 ○第4学年P163のように実験器具の使い方を一手順ごとに写真を掲載しながら説明していて、児童が視覚的に分かりやすくなっている。 ○第5学年P70のめしべの先や第6学年P127の化石など、児童が実際に見ることが難しい写真が大きく掲載されている。
使 用 上 の 便 宜	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。 ○巻頭の写真付きの「〇年の理科で学ぶこと」と背表紙の「もくじ」で、全体の構成を見通せる。写真付きのため、児童にとってイメージしやすい。 ○サイズ：縦29.8cm、横21cm、厚さ0.7～0.8cm、重量：第6学年439g、第5学年374g、第4学年437g、第3学年392g	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。 ○「ココに注目」では、実験する際に注目すべきポイントが書かれていて、児童が見通しをもって実験しやすい配慮がされている。 ○サイズ：縦29.8cm、横21cm、厚さ0.7～0.8cm、重量：第6学年531g、第5学年454g、第4学年526g、第3学年473g	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。 ○目次が裏表紙にあり、SDGsの17の目標との関連についても一目で分かる。 ○サイズ：縦25.7cm、横21cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年532g、第5学年447g、第4学年474g、第3学年427g 教科書のサイズが他社に比べて小さい。

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 啓林館 ）	発行者（ ）
内 容	<p>○巻頭に、前の学年で学習した内容をまとめたページや国語の学習で学んだ力を生かすための解説ページがある。</p> <p>○巻頭の「学習の進め方」では、問題解決のプロセスが明記されており、それに沿って内容が展開されている。</p> <p>○思考力・判断力・表現力を育成するための支援として、問題から予想したり、結果から考察したりするところにピンク色で「見方のカギ」「考え方のカギ」がある。</p>	<p>○巻頭の「学びの中でICTを活用してみよう」で、活用の場面や効果を具体的に示し、主体的な学びを促している。</p> <p>○「理科の楽しみ方」では、問題解決の流れを円の形で示すことで、継続的に学習を進めていくという意識をもたせることができるようになっている。</p> <p>○「くらしとリンク」では、暮らしの中で理科がどのように活用されているかなどを紹介している。</p>	
構 成 ・ 分 量	<p>○単元末の「確かめよう」では、定着度を確認したり、理解を深めたりすることができる。</p> <p>○事象提示を受けて学習前の児童の疑問、問題解決を経ての変化などがイラストを通して表現されていて、学習の見通しをもちやすくなっている。</p> <p>○第6学年P31のように「はってん」では、中学校のどの学年で学習するのかが書かれているので、学習に見通しがもてる。</p>	<p>○発展的な内容はコラム「理科の広場」に記載されており、中学校での学びのつながりも意識することができる。</p> <p>○第6学年P12のように、ページの左端に問題解決のプロセスが整理されて記述されている。</p> <p>○第3学年の巻末に「こん虫たんけんシート・植物たんけんシート」の付録（定規付き）がある。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○裏表紙に安全の手引が記載されており、子どもたちが安全への配慮に意識を向けやすいように工夫がされている。</p> <p>○全学年P7に「ノートのとおり方」の例示があり、「問題」「予想」「計画」「結果」「考察」「結論」のそれぞれの項目に何をどのように書いたらよいか分かる。</p> <p>○二次元コードだけでなく、第3学年P54のようにSDGsのアイコンも所々掲載されている。</p>	<p>○新しく学習した語句やポイントが単元末の「ふり返ろう」にまとめられている。</p> <p>○新出の実験器具や資料の提示に二次元コードが用意されており、詳細について学んだり確認したりできるようになっている。</p> <p>○活字の大きさ、字体、行間、色調が適切である。安全面の注意事項が、橙色吹き出し「注意」で強調されている。</p>	
使 用 上 の 便 宜	<p>○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。</p> <p>○目次は、物質・エネルギー領域は青色、生命・地球領域は緑で表記されている。また、目次の横にマークの説明も記載されている。</p> <p>○サイズ：縦27.3cm、横21.1cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年481g、第5学年448g、第4学年496g、第3学年417g</p>	<p>○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォントや色、デザインが誰にとっても学びやすいものになるよう工夫されている。</p> <p>○目次のページに「季節ごよみ」が掲載されており、学習に必要な植物の栽培の見通しがつかみやすい。</p> <p>○サイズ：縦25.7cm、横21.1cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年427g、第5学年382g、第4学年400g、第3学年397g 教科書のサイズが他社に比べて小さい。</p>	

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 生 活 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 大日本図書 ）	発行者（ 学校図書 ）
内 容	○幼保小連携を意識しており、入学直後の1年生に向けた活動を丁寧に扱っている。 ○下巻P15などのように、他教科との関連を示すマークがあり、教科横断的に学ぶことができる。	○上巻の巻頭「たのしいよ 1ねんせい」（P2～P7）では、幼稚園、保育園、子ども園の生活と小学校生活とを比較しながらのスタートカリキュラムで活用できる内容となっている。 ○下巻P50にSDGsに関連した資料があり、下巻P39のようにマークをつけることで、学習との関連を示している。	○小学校生活の円滑な接続として、「はじまるよししょうがっこう」（上巻P3～P11）が設定され、児童の発達段階を考慮した紙面となっている。 ○ごみの分別やリサイクルなど、環境に配慮した行動についてイラストで示している（下巻P90など）。
構 成 ・ 分 量	○観察カードを書く時に、「見付ける」、「比べる」、「たとえる」と3観点を示しており（上巻P35など）、観察カードの例も多く掲載されている。 ○「！」気付き、「？」疑問や課題、「♡」関心など、児童の思いに沿った学習展開がされている。	○「くらべる」「たとえる」など、観察カードの書き方が具体的にくわしく載っている（上巻P41など）。特に第1学年初期の段階では、文字を書くのではなく、気持ちを表現する「きもち」マークというものが教科書に示されている（上巻P3など）。 ○見開き左ページ上には、興味を引く小見出しがあり、キャラクターが本時のめあてを伝えている。	○各ページの左上には、活動内容をその下には活動を喚起する内容が明記されていることで見通しをもって取り組むことができる。 ○上巻P46、47のように、もっと〇〇、ものしりノートなどは、発展的な学習につなげることができる。
表 記 ・ 表 現	○学習で大切なキーワードとなる考えは吹き出しの形で目立つようになっている。活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。 ○二次元コードが用意されており、活動が動画で見られるので分かりやすい。 ○上巻P28では、たね、芽、花のつぼみが種類ごとにセットで見られるようになっており分かりやすい。	○「せいかつのことば」として、「たべものをつくることば」（上巻P77）や「ゆきの名まえ」（上巻P109）などが掲載されており、語彙を広げることができる。 ○下巻P48のように、〇〇名人という言葉をつかって、めざす姿を明らかにしているため、児童がイメージしやすい。 ○二次元コードが載せてあり、動画を学習に活用できる。	○使用されている漢字にすべてルビが振ってあるため、未習や漢字の読みが苦手な児童も読むことできる。 ○二次元コードが載せてあり、動画を活用した学習に取り組むことができる。 ○発達段階を考慮したカードの記録例（上巻P35）や新聞の書き方（上巻P56）など、多様な表現方法を例示している。
使 用 上 の 便 宜	○巻末「かつどうべんりてちょう」が児童の自力解決の手がかりとなる。 ○サイズはA4サイズで重さは適切である。 ○上巻P119「こんぴゅうたをつかおう」では一人一台端末の活用例が具体的に示されている。	○「がくしゅうどうぐばこ」には、道具の使い方等の情報がまとめてあり、活動の際の視点、留意点分かりやすい。 ○下巻P77のように、児童の活動例にICT活用の様子が載せられており、分かりやすい。 ○教科書のサイズはA4版の大きさで、重さは適切である。	○巻末に9つの項目からなる「学び方図かん」があり、生活科の学習に必要な基礎的な知識・技能の習得が分かりやすいようにまとめられており、参照しやすい工夫がされている。 ○ICTの活用について、ワンポイントアドバイスを載せたり、写真で紹介したりしている（下巻P41など）。 ○A4判変形サイズ（レターサイズ）で重さは適切である。

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 生 活 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 光村図書 ）	発行者（ 啓林館 ）
内 容	○幼児教育（上巻P3～）や中学年の学習（下巻P104～）とのつながりを意識した内容になっている。 ○他教科との関連やSDGsを意識した構成となっており、関連学習にSDGsのマークが付いていたり、その一覧がまとめられたりしている。（下巻P109 「学びのポケット」、P122 「地きゅうとなかよし」）	○「さあ、とびだそう」では、幼児教育とのつながりを意識し、これまでの成長をいかし興味を引き出しながら、第一單元へつなげている。 ○SDGsのマークをつけ（下巻P55など）、環境学習と関連付けている。	○スタートカリキュラムで活用できる内容として、「がっこうだいすき いちねんせい」（上巻P1～P16）が設定されている。 ○「他教科マーク」（下巻P69など）を掲載し、他教科とのつながりを分かりやすく示している。
構 成 ・ 分 量	○「気付く」「考える」「伝える」「挑戦する」などがページ左上に記載されており、視点が明確である。 ○第1学年の段階から、思考ツールの手法を取り入れた学習構成がなされている。（上巻P77など）	○各ページに「ふりかえろう」という振り返りの視点があり、子どもたちが活動を振り返りやすくなっている。 ○上下巻ともに、「こんなこともあるかもね」「こんなのもいいかもよ」「どうしてなんだろう」の部分が児童の思考を促したり、興味をもてるように工夫がなされていたりしている。	○単元末「ぐんぐん」の紙面の「できるかな できたかな？」のコーナーで自己評価の視点を示し、「ひろがるきもち」のコーナーでは、学習活動を日常生活につなげたり、学習をさらに広げる具体的な姿が示されている。 ○上巻P113の付箋整理や上巻P47、P92などの児童の気付きを共有化・可視化する、板書、付箋、ICTを活用する学習活動が例示されており、課題解決の方法を学ぶことができる。また、様々な思考ツールの基礎段階を指導することができる。（例：上巻P112）
表 記 ・ 表 現	○二次元コードが掲載されていて、どのような資料を見ることができるか、一目で分かるように示されている。 ○活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。 ○はっけんロードが教科書下に示され、学習がつながっていることが分かる（上巻P25～など）	○子どもになじみのあるイラスト（絵本作家）で、色味も暖かく見やすい。 ○二次元コードが掲載され、動画を活用して学ぶことができる。 ○活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。	○二次元コードが掲載され、動画を活用して学ぶことができる。 ○活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。 ○教科書右下には、本時のまとめや次時の課題につながる言葉などが書かれている（上巻P17など）。
使 用 上 の 便 宜	○巻末「学びのポケット」との関連が示されており、児童の自力解決の手がかりとなる。 ○わくわくスイッチのページを活用して一人ひとりの興味を探ることができ、個に応じた支援に生かすことができる。 ○サイズA4であり、重さは適切である。	○別冊で、ひろがるせいかつじてんがあり、植物図鑑やあそびの図鑑などがあり、学習に役立てることができる。 ○上巻巻末の植物図鑑が防汚加工されているので野外活動で使いやすい。 ○サイズはA4であり、重さは適切である。	○上巻P78のような「びっくりずかんLIVE」があり、図鑑的な要素がある。 ○巻末「がくしゅうずかん」では、生活科の活動に生かせる情報をまとめている。 ○サイズはA4より小さく、重さは適切である。

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 音 楽 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 教育芸術社 ）	発行者（ ）
内 容	<p>○右ページ上部にある、「音楽のもと」で学習内容がわかりやすく示されており、知識及び技能の習得に役立つ。</p> <p>○第4学年の「役割をもとに音楽を作ろう」など、学び合うことをテーマに学習活動が設定されており、児童が試行錯誤しながら学習に取り組みやすい。</p> <p>○全学年で英語の歌が掲載されており、他教科との関連を図った授業展開ができる。</p> <p>○第5学年P 65「川はだれのもの？」でSDGsについて取り上げられている。</p>	<p>○「見つける」「考える」「歌う」「演奏する」など、学習活動が具体的に示されており、課題を解決したり、思考を促したりする手立てとなっている。</p> <p>○キャラクターが考えるヒントとなることをつぶやいており、視点をもって表現の工夫を考えることができる。</p> <p>○著作権やサウンドスケープ、ゲーム音楽の紹介等、実生活につながる内容が記載されている。</p>	
構 成 ・ 分 量	<p>○「音楽のおくりもの」「さんぽ」が全学年で掲載されているため、全校合唱で活用できる。</p> <p>○児童に書き込ませる枠がほとんどない。</p> <p>○第3学年P 46のように、児童が「歌唱で学ぶのか」「器楽で学ぶのか」（リコーダー）主体的に選べる題材がある。</p>	<p>○第6学年P 44「われは海の子」を夏に扱うことが難しい配列になっている。</p> <p>○第6学年P 37など、気づいたことを書き込ませる枠が設けられている。</p> <p>○第3学年P 36、第5学年P 38のように、1つの題材について、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」の2つ以上を組み合わせている題材がある。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○第1、2学年に、実物大の鍵盤写真があり、手の置き方、指使いが分かりやすい。</p> <p>○楽器やばちの持ち方が、手元を拡大した写真で分かりやすく示されている。</p> <p>○デジタルコンテンツの数が精選されている。</p>	<p>○第1学年の鍵盤ハーモニカの単元で、息の出し方、切り方がイラストで分かりやすく示されている。</p> <p>○楽譜がシンプルで、児童の集中力を妨げる刺激が少ない。</p> <p>○二次元コードの位置がページの右上に固定されていて、見付けやすい。</p>	
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭の「学習マップ」で全体の構成を見通せるように工夫されている。</p> <p>○巻末の「音楽のもと」まとめでは、難しい言葉の要素が、イメージ図で分かりやすく示されている。</p> <p>○折込のページにリコーダーの運指表があり、広げて見やすい。</p>	<p>○巻頭の「学習マップ」「ふりかえりのページ」で全体の工夫が見通せるように工夫されている。</p> <p>○各ページの学習活動が明確で、自学自習にも生かすことができる。</p> <p>○アジロ製本様式で、丈夫で長持ちするように配慮されている。</p>	

令和 5 年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 図画工作 】

	発行者（ 開隆堂 ）	発行者（ 日本文教出版 ）	発行者（ ）
内 容	○「学習のめあて」について、三観点のうち最も重要とする部分が赤字で書かれており、児童が主体的に短時間で確認できるようになっている。 ○現行の教科書と同題材名でも作品事例写真が異なるので、指導者にとって指導の幅の広がりの手がかりになる可能性が高い。 ○低学年から高学年にむけて、自然に触れたり外に出て行う造形あそびの題材が系統的に組み込まれている。	○中学年から鑑賞教材、写真が充実している（第3・4学年下巻P22鳥獣戯画等） ○高学年から本格的なICT活用の題材が取り入れられている。（第5・6学年上巻P54「ICTでチャレンジ」等） ○情報モラルなど現代的な課題から、第5・6学年下P48、49のように伝統文化や国際理解等にも触れ、発展的内容が充実している。	
構 成 ・ 分 量	○各領域で必要な内容が適切な分量で構成されている。 ○現行の教科書よりも、技能的なヒントや発想の手立てとしての写真などが、それぞれのページに掲載があるため見やすい。 ○学習のめあてがはっきりしていて、どの資質・能力を育てるための授業をすればよいのか分かりやすい。	○各領域で必要な内容が適切な分量で構成されている。 ○巻末の用具の扱いや、注意事項に関するページは、落ち着いた色調の背景となっているので、視覚的な刺激が強すぎず、最適で見やすい。 ○教科書の上部に制作している子どもの写真が多く記載されており、作業過程がイメージしやすい構成になっている。	
表 記 ・ 表 現	○題材名の左上の箇所（定位置）に、その題材で使用する用具が、イラストと文字で表記されているため、何を使用するか分かりやすい。 ○高学年になるにつれ、字が小さくなる。技法の説明ページも背景色が全て白で、とても小さい字のため、1ページの情報量が多くなっており読みにくい、イラストは見やすい。 ○めあてのキャラクターが登場し、表記されている。	○高学年でも字が大きめで見やすい。技法の説明では、イラストより写真を多く使用するとともに、背景色や太い枠で囲むなどしており、見やすい。 ○どのページも、左上にめあて、下部に用具や注意事項などが同じように記載されており、見やすく分かりやすい。 ○児童のつぶやきが吹き出しになっていて作品の様子が分かりやすい。	
使 用 上 の 便 宜	○1単元が見開きになっていてわかりやすい。 ○片付けや振り返り等の観点が同じ場所に記載されわかりやすい。 ○左ページ下部の「参考」から巻末の「学びの資料」につながり、主体的に活動できるようにつくりになっている。 ○全体的に学年のつながりを意識できる内容になっており、第5・6学年下巻の「未来につながる図画工作」では6年間の学習を振り返り、図画工作で身に付けた力が中学校生活、さらに将来の仕事につながることを意識できるようにさせている。	○第5・6学年上の巻末にアートカードが付いており、子どもがそのまま切り取って使えて便利である。また、「図工のたいそう」は独自の表記である。 ○巻末の「材料と用具のひきだし」が辞典のようで、活用でき、使いやすい。知りたい情報が見付けやすく、技術や表現の幅を広げることにつながる。 ○第1・2学年上巻には保幼小連携を意識したつくりになっており、第5・6学年下巻では9年間の美術科教育への系統性が意識できるようになっている。	

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 家 庭 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 開隆堂 ）	発行者（ ）
内 容	○日本の伝統、SDGs、安全への配慮がまとめられ、各学習内容と関連付けながら学びを深めることができる。 ○「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「深めよう」と活動内容が明示され、学んだことを活用して深めるようになっている。	○防災、SDGsについてまとめられている。また、P77のように地図を活用して食文化への理解を深めるなど、各学習内容・関連教科と関連付けながら学びを深めることができる。 ○子どもたちの興味を引きつけ、語彙を増やしたり知識を広げたりできる豆知識がページ下部に全ての単元で掲載されている。	
構 成 ・ 分 量	○第5学年8題材、第6学年7題材が設定され、全149ページで構成されている。 ○毎学期、調理又は裁縫の実技が構成されており、教材の配列、系統性、発展性が考慮されている。	○第5学年11題材、第6学年9題材が設定され、全153ページで構成されている。 ○発展学習としてP37のように「生活の課題と実践」があり、家庭科の学習を生かして、日々の生活から課題を見つけ、実践につなげる資質・能力を伸ばすようになっている。	
表 記 ・ 表 現	○写真、大きな絵、図が豊富で、説明と合わせて視覚的に捉え理解を深めることができる。 ○題材名や挿絵による問題提起など、児童が学習内容に興味関心を高めるよう工夫されている。	○写真やイラストが豊富で、色使いも配慮されており、視覚的に捉えることができる。 ○重要な語句を太字にしたり、吹き出しや見出しを付けたりと文字情報の表記方法を工夫している。	
使 用 上 の 便 宜	○各単元において二次元コードが示され、単元に紐付く動画等が準備されている。 ○目次に一覧性があり、2年間の内容を把握し、見通しがもてる。また、巻末には右利き・左利き両方の技能に関する写真が掲載されている。	○各単元において二次元コードが示され、単元に紐付く動画等が準備されている。 ○目次に一覧性があり、2年間の内容を把握し、見通しがもてる。また、巻末には右利き・左利き両方の技能に関する写真が掲載されている。	

令和5年度 検定教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 大日本図書 ）	発行者（ 大修館書店 ）
内 容	○「学習の課題」が教科書の左上に大きく示されていて、児童がその時間に何を身に付けるのかが分かりやすい。 ○どの単元の課題も自ら気付いて見つける構成になっており、問題を解決するために必要な力を育むことができる。 ○単元の始まりのページに学習内容とSDG sとの関連を示すなど、現代的な課題に対応している。	○各学年の最後に「○学年のまとめ」のページがあり、学習内容の定着につなげることができる。 ○どの単元にも「活かそう」の欄があり、自分の生き方につなげた「振り返り」ができるようになっている。 ○現代的な課題（SDG s、LGBTなど）についての記載がある。	○第3・4学年用教科書の巻頭に「生活の中のほけんをさがそう！」があり、身の回りに保健に関する事象が多くあることを理解させやすい。 ○各学年の最初のページには、著名人の健康についてのインタビューがあり、「キャリア教育」につなげることができる。 ○第5学年「心の健康」の悩みを相談する場面において、具体的な相談の仕方が記載されているなど、生活に活かすことを想定した内容である。
構 成 ・ 分 量	○「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という流れで単元が構成されている。 ○ほとんどのページに書き込む箇所があり、授業の流れにそって、記入しながら、考えを深めることができる構成である。 ○一単位時間あたり4～6ページで構成されており、詳細に説明されている箇所が多い。	○「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」という流れで単元が構成されている。 ○巻頭に目次、学習のすすめ方、教科書の使い方が記載しており、どのように学習をすすめれば良いかがわかりやすい。 ○一単位時間あたり2～4ページで構成されており、統一されたレイアウトで児童が迷いなく学習に取り組むことができるようになっている。	○どの単元も「ステップ1」（課題をつかむ）「ステップ2」（課題を解決する）「ステップ3」（学習をまとめる）という流れで構成されている。 ○教科書自体がワークシート形式となっており、扱いやすい。 ○一単位時間あたり2ページから4ページで構成されている。また資料「もっと学びを広げよう！深めよう！」が多く用意されている。
表 記 ・ 表 現	○写真やイラストは、車椅子、外国籍の子どもなどを使用しており、多様性・共存に対して配慮がされている。 ○「解説」として新しく出てきた言葉の解説がされており、分かりやすい。 ○知識として確実に定着させたい言葉を太字で目立たせるなど、配慮されている。	○フォントのサイズが適切かつ統一されており、見やすい。 ○第3学年の学習内容が青、第4学年が赤、第5学年が緑、第6学年が紫と薄い赤と色別されている。 ○他教科との関連があるページには教科名が分かりやすく記載されている。	○見開きの左上に必ず単元名や本時のテーマが明記されていて、児童も教師も見通しをもちやすい。 ○児童の発達の段階を考慮し、第4学年P31「体にあらわれる変化」では着衣のイラストを採用している。 ○第3学年P23「学校みんなのけんこうを守る活動」などでは、実際の写真が多く使用されているため、日常生活につなげやすい。
使 用 上 の 便 宜	○教科書はA4判で、第3・4学年は45ページ、第5・6学年は77ページで構成されている。 ○教科書のまとめが穴埋め式になっているため、児童にとってまとめに何を書いて良いか分かりやすい。 ○児童の興味関心を高めるため、「気づく・見つける」段階のページでは、そこから先の学習内容を見えないようにしている。	○教科書はA4判で、第3・4学年は45ページ、第5・6学年は69ページで構成されている。 ○ワークシートと一体となっており、児童が書き込みながら学習できるようになっている。 ○巻頭に示されている折り込みカードのページを使い、情報を制限することで児童の主体的な学びにつなげられるようになっている。	○教科書はA4判で、第3・4学年は49ページ、第5・6学年は73ページで構成されている。 ○イラスト・写真の配置や色づかい、マークや囲みのデザイン、文節での改行など、学習上のつまづきを防ぐように配慮されている。 ○「まとめ」の書き込みが教科書見開きの下部分に統一されて設定されている。

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

	発行者（ 文教社 ）	発行者（ 光文書院 ）	発行者（ Gakken ）
内 容	<p>○単元の内容に合わせて、アスリートや歯科医師、警察官からのメッセージを掲載しているなど、「キャリア教育」につなげやすい内容である。</p> <p>○単元末の「私の○○宣言」の欄を活用し、今後に生かしたいことを表現するなど、思考力、判断力、表現力等を高めることができる内容である。</p> <p>○第5学年「不安や悩みへの対処」では、体ほぐしの運動例が写真付きで1ページ紹介されている。</p>	<p>○「わたしと健康」という題名で、オリンピックやパラリンピアン、アーティストのメッセージが掲載されている。「キャリア教育」にもつなげやすい内容である。</p> <p>○伝え合う学習が各単元に設定されており、児童が思考力、判断力、表現力等を高めることができる内容である。</p> <p>○毎時間「学習の課題」が示されることで、児童が主体的に学習に取り組むことができるようになっている。</p>	<p>○「もっと！知りたい・調べたい」のページがあり、学習内容と自己の生活を結び付けることができる内容である。</p> <p>○「話し合う・意見を出し合う」などの活動が、どの単元にも配置されており、思考力、判断力、表現力等を高めることができる内容である。</p> <p>○5年「不安や悩みへの対処」では、体ほぐしの運動例が1ページイラストで紹介されている。（5年）</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○毎時間「本時のメニュー」が示されることで、見通しをもって学習できるようになっている。</p> <p>○教科書自体とワークシートが一体となっている。また、児童が記述する欄には、罫線が引かれている。</p> <p>○発展的な学習として「もっと考えよう課」というページが設定されている。</p>	<p>○「自分の生活を振り返る」「学習の課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」という流れで構成されている。</p> <p>○目次には学習の進め方が示されているとともに、保健を学ぶ意義について漫画で示されている。</p> <p>○巻末にSDG sについての単元「SDG sってなんだろう」が掲載されており、保健で学んだこととSDG sの目標には深いつながりがあることを示し、発展学習へつなげやすくしている。</p>	<p>○どの単元も「振り返る」「話し合う」「学びを生かす」などの3段階の流れで構成されている</p> <p>○巻頭では、目次とともにSDG sと保健の学習とのつながりを明記している。</p> <p>○「ほけんのはこ」のコーナーが設定され、発展的な内容を学ぶことができるようになっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○大事な言葉が太字で表記されるなどの配慮がある。</p> <p>○学習の流れの言葉が英語表記になっている。 (menu、mission、Stage、clear、complete)</p> <p>○全体的に明るい色を使用しており、イラストと実際の写真のバランスがよい。</p>	<p>○大事な言葉が太字で表記されるなどの配慮がある。</p> <p>○イラストと実際の写真を組み合わせることにより、日常場面をイメージしやすくしている。（例：第5・6年 「心の発達に大切なこと」 P10～P11など）</p> <p>○第4学年「体の発育と健康」では、成長には個人差があることを繰り返し表記している。</p>	<p>○文字数が少なく簡潔にまとめられている。また、文字と資料、イラストのバランスがよい。</p> <p>○各ページの下部に豆知識を記載した「プチ」というコーナーを設けており、学習内容に関連した知識が書いてある。</p> <p>○キャラクターの吹き出しが児童に思考を促すようになっている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○教科書はA4判で、第3・4学年は37ページ、第5・6学年は83ページで構成されている。</p> <p>○「つぶやきくん」というキャラクターが豆知識やメッセージをつぶやく欄をページ下部に設けている。</p> <p>○まとめて「もう1歩先の自分へ」の項目に記述するようになっており、自分の将来と結び付けるようにしている。</p>	<p>○教科書はA4判で、第3・4学年は41ページ、第5・6学年は65ページで構成されている。</p> <p>○単元の最初のページでは、学習内容に関連した4または5コマ漫画を掲載し、単元のねらいを明確にする工夫がなされている。</p> <p>○単元末の「学習のまとめ」では、チェックシートに○や×をつけたり、記述で振り返ったりできるようになっている。</p>	<p>○教科書はA4判で、第3・4学年は49ページ、第5・6学年は89ページで構成されている。</p> <p>○第3・4学年及び第5・6学年の巻末において、2年間の学びを振り返り、記述できるページを設定している。</p> <p>○印刷が鮮明であり、全ページカラー刷りで、色彩は目にやさしくソフトに仕上げている。</p>

令和5年度 検定教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 開隆堂 ）	発行者（ 三省堂 ）
内 容	<p>○書く活動を多く取り入れている。</p> <p>○第6学年の教科書Unit 5 P 5 4のように、他教科と関連した内容がある。</p> <p>○Unitの学習の流れがStating out → your turn → Enjoy communication → Over the horizonとなっており、指導者も学習者も見通しがもてる内容になっている。</p> <p>○第5学年P 3 9のように考えを整理する思考ツールを活用し、自分の考えを発表する活動がある。</p>	<p>○単元の最初に、単元のゴールや学習の流れが明確に書かれている。</p> <p>○単元の導入では、簡単なゲームやアクティビティなどを行い、「やり取り」を重視した内容となっている。</p> <p>○世界に焦点を当てていて、SDGsに関係しているものを取り上げている。（第5学年P 5 1）</p> <p>○他教科に関連した情報や表現が多い。該当箇所は他教科との関連がわかるマークが第5学年P 2 5のように、単元の最初のページ右下に示されている。</p>	<p>○各ユニットごとにHop Step Jumpの三段階に分かれており、学習の流れが明確に示されている。</p> <p>○第6学年P 2 0などのように外国の文化の紹介等が多く盛り込まれている。</p> <p>○学習の流れ（Let's watch - Listen - Speak - Play - Talk）+（Read & Write）が統一されており、見通しをもって学習を進められる。</p> <p>○第6学年P 5 9のように、他教科とのつながりを意識したマークがついている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第5学年P 1 1のように、実際に自分のことについて書かせ、話し合わせる活動につなげている。</p> <p>○Small Talkの設定時間が1単位時間の中盤にあり、学習したことを生かして話し合うことができる。</p> <p>冒頭の目標から達成度を見取るコミュニケーション活動に至る一連の流れを通じ、児童に安心感を与える構成になっている。</p>	<p>○巻頭に見開きで、英語を学ぶ上での大切なことが掲載されている。</p> <p>○Let's play の内容がゲームの要素を盛り込んでいるため、学習活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>	<p>○単元後半にあるFun Boxは、既習内容を復習する上で有効である。</p> <p>○第6学年P 3 1のように、プレゼンテーションでOUTPUTする活動が多く、発表することを意識した内容になっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第6学年のP 2, 3において、名前の書き方、単語の書き方、文の書き方のポイントを提示するとともに、英語を書かせる場合は、4線の上に書かせるようにしている。</p> <p>○二次元コードで読み取り、一人や家庭学習でも発音を確認できる。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>	<p>○日本語で書かれている指示が分かりやすいので、児童が見通しをもって学習に取り組みやすい。</p> <p>○二次元コードで動画や音声聞くことができる。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>	<p>○ページ右下のミニ情報が、児童の興味を引く内容となっている。</p> <p>○二次元コードで動画や音声聞くことができる。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第5、6学年で利用できる別冊のMy picture dictionaryが付いている。また、別冊のP 4 2にCAN-DOの樹としてCAN-DOリストがある。</p> <p>○サイズはA 4で重さは適切である。</p> <p>○付録のMy picture dictionaryを使用するページの指示が的確で、学習者が活用しやすい。</p>	<p>○第5、6学年のそれぞれにWord Bookがあり、学習者にとって使いやすく、指導者にとっても指導しやすい。</p> <p>○巻末のCAN-DOチェックで、できるようになったことが記録できる。</p> <p>○サイズはA 4サイズで重さは適切である。</p>	<p>○第5学年P 3 9「世界のおはなし」、第5学年P 1 0 6「プログラミング」に関するページ、P 9 2, 9 3「Hello World」等が、発展的な内容であり、異文化理解をする上で有効である。</p> <p>○サイズはA4で重さは適切である。</p> <p>○別冊のMy Dictionary P 4 4～4 5の「CAN-DO」によって、学習したことを振り返ることができ、評価にも活用しやすい。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 光村図書 ）	発行者（ 啓林館 ）
内 容	<p>○Lessonの内容構成が「映像を見る」→「話す」「聞く」「書く」「読む」→Final activityとなっている。</p> <p>○各LessonごとのGoalが提示されており、クローバーの三つ葉に色を塗り、振り返る形になっている。</p> <p>○Let's Look at the Worldでは、SDG sを意識した内容となっている。</p> <p>○第5学年P 5 6の名所・名物マップなど、他教科と関連した多彩な資料が掲載されている。</p>	<p>○Unitの最初にゴールが示されており、学習の流れが明確に示されている。</p> <p>○1単位時間の学習は「watch→listen→try→read」となっており、指導者も児童も見通しをもって学習に取り組むことができる。</p> <p>○UnitがHop→Step→Jumpの構成になっており、それぞれの目標も明示されているため、指導者・学習者ともに見通しをもって指導・学習ができる。</p> <p>○SDG sに関わる環境問題を多く取り上げており、英語の物語を通して考えることができる。（6年P 9 7など）</p>	<p>○各UnitにGoalを設定しており、Stepごとの学習者の活動のめあてが示されている。</p> <p>○Stepの最後にはactivityが設定されており、OUTPUTで終わるようにになっている。</p> <p>○巻頭にはコミュニケーションに大切なことを載せ、話し方や聞き方、やりとりについて、説明がされている。</p> <p>○Did you know?では、第5学年P 1 0 3のように、世界の問題についてSDG sを視点に考えるページがある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○各Unitの最初にThinkが設定されており、自分はどうしたいかを考え、それをもとに友達と交流することができる。</p> <p>○多彩なアクティビティが多く掲載されている。</p>	<p>○やりとり中心で、相手に応じてのリアクションなどが丁寧に扱われている。</p> <p>○巻頭に「6年でできるようになること」や「中学校の目標」を掲載し、これからの学習の動機づけを重視したつくりとなっている。</p>	<p>○第5、6学年ともに、巻頭に「コミュニケーションに大切なこと」で「やりとり」「発表」、巻末に「会話を楽しむフレーズ集」があり、コミュニケーションする際のアドバイスを多く掲載している。</p> <p>○Did you know? やChallengeでは、世界のカルチャーを知ったり、activityを発展させたりできる。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第5、6学年とも巻頭にクラスルーム・イングリッシュやタブレット端末の使い方、学校生活で気を付けることが音声で案内されている。</p> <p>○二次元コードの中に、音声・動画・音楽のどれかが分かるよう表記がある。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>	<p>○二次元コードが掲載され、音声や動画等、資料を活用して学習に取り組むことができる。</p> <p>○ページ下に発音についてのワンポイントが書いてあったり、ページ上部には、Small Talkのフレーズ等、英語のちょっとしたコツが多く掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調など適切である。</p>	<p>○Tipsがあり、豆知識やヒントがある。</p> <p>○Chantの学習では、アクセントの部分にオレンジ点が付いており、どこに強弱をおくのかが見て分かる。</p> <p>○二次元コードで動画や音声を聞くことができ、また、ユニバーサルデザインに配慮しており、活字の大きさ、字体、行間、色調などが適切である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第5、6学年ともに巻末にMy word bankがあり、Lessonごとに活用しやすい。</p> <p>○第6学年巻末のMy Bookでは、9種類のワークシートがあり、学習を生かして表現をすることができる。</p> <p>○大きさはA 4変形型で、小さいつくりとなっている。</p>	<p>○picture dictionaryがついていて、単語が覚えやすくなっている。</p> <p>○第6学年P 6 1のように、ICTの活用についてページを割り、ノートパソコンやタブレットを活用した学習を紹介している。</p> <p>○大きさはA 4変形型で、少し小さい作りとなっている。</p>	<p>○巻末にWord listがある。</p> <p>○A 4サイズで、重さは適切である。</p> <p>○around The World では、同年代の友達を意識させることで、より英語を身近に感じることができる。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

	発行者（ 東京書籍 ）	発行者（ 教育出版 ）	発行者（ 光村図書 ）
内 容	<p>○全学年のP 6・7に道徳の学び方として、「気づく→考える→広げる・深める」という学び方が示されている。</p> <p>○手塚治虫さんや辻井伸行さんなど、子どもたちが知っている著名人を取り上げており、興味・関心を引く内容になっている。</p> <p>○「郷土愛の育成」については、第1学年で「見つけてみよう まちのすてきなところ」となっており、身近な話題を取り上げることができる。</p>	<p>○全学年のP 4・5に「考えよう」「深めよう」「つなげよう」という学び方が示されている。</p> <p>○現代的な諸課題に対応した教材がある。（例 第3学年「エブロン」（P 4 2）「おそろしいゲームいぞん」（P 5 0））</p> <p>○第5学年の巻末に、SDG s との関連した資料がある。</p>	<p>○第2学年～第6学年のP 8・9に「道徳みちあんない」として、1年間の流れが示されている。</p> <p>○教科書に自分で言葉を書き入れられる教材（例 第1学年P 1 0 2「ジャングルジム」、第3学年P 1 2 5「まわりを見つめて」）がある。</p> <p>○「なんだろうなんだろう」という児童が考えるきっかけになる教材が各学年に配置されている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○本編教材は、第1学年は3 4編、第2学年～第6学年は3 5編ある。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○「つながる・広がる」で、他教科の学習や実生活と関連した内容を取り上げている。</p>	<p>○本編教材が第1学年で3 0編、補充教材として4編、第2学年～第6学年で3 0編、補充教材が5編ある。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○「問題を解決しよう」では、「問題を見つける」「解決方法を考える」「考えたことを生かす」と問題解決の手順が示されており、児童にとって、取り組みやすい。</p>	<p>○本編教材数が第1学年が3 4編、第2学年～第6学年が3 5編ある。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○「ところをかよわそう」や「コラム」があり、発展的な内容になっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○二次元コードからスライドショー、デジタルノートが活用できるとともに、心情メーターなどの付録がついている。</p> <p>○通常の目次とは別に、内容項目別の目次が設けられている。</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○ほとんどの教材に二次元コードがついている。</p> <p>○P 2・3に「道徳で学習すること」が内容項目ごとに色分けされた目次がある。</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○掲載されている写真が鮮明である。</p> <p>○第3学年以上で思考ツールが付録で紹介されている。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○教科書はA B版である。</p> <p>○巻末の「学習の記録」では、心に残った話や振り返りを記入する欄がある。</p>	<p>○教科書はA B版である。</p> <p>○巻末に学年の発達段階に応じた資料が掲載されている。</p>	<p>○教科書は、変形A B版（縦2 5．7 cm、横1 9．2 cm）である。</p> <p>○巻末に「学びの記録」があり、シールを貼ったり一言感想を書いたりする欄がある。</p>

令和5年度 検定済教科用図書学校調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

	発行者（ 日本文教出版 ）	発行者（ 光文書院 ）	発行者（ Gakken ）
内 容	<p>○P4・5に「気づく」「考える・深める」「見つめる・生かす」という「道徳の学び方」が示されている。</p> <p>○「こころのベンチ」が設定されており、授業で学んだ行動を児童が実践する助けとなる。</p> <p>○「ウイルスとの戦いー父にエールをー（第6学年P50）」に新型コロナウイルス感染症に関する教材がある。</p>	<p>○P4・5に「問いを見つけよう」「考えよう」「まとめよう・ふりかえろう」「ひろげよう・つなげよう」という学び方が示されている。</p> <p>○「生命尊重」について、全学年で連続して教材を配置している。</p> <p>○オリンピックに出場したことのある体操の内村航平選手（第3学年P66）やラグビー日本代表選手（第4学年P140）の教材がある。</p>	<p>○「道徳の学習が始まるよ（P8・9）」では、第1・2学年で道徳の学習内容、第3・4学年で自分を見つめ深めるポイント、第5・6学年で考えを深めるステップが記載されている。</p> <p>○板橋区で実際に児童が行った出来事が題材として扱われている。（第6学年P156～P159「届け！ぼくらの願い」）</p> <p>○上野由岐子さん（第3学年P26）、高橋尚子さん（第3学年P118）など、児童が興味をもって考えられる人物の教材を扱っている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○本編教材数が第1学年が34編、補助教材3編、第2学年～第6学年が本編教材35編と補助教材3編で構成されている。</p> <p>○自分の考えを書き込んで授業に生かすことができる別冊ノートがある。</p> <p>○各教材に「見つめよう・いかそう」があり、自分事として考える学習につなげることができる。</p>	<p>○本編教材数が第1学年が34編、補助教材6編、第2学年～第6学年が本編教材35編と補助教材5編で構成されている。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○各単元に「ひろげよう」が記載されており、自分事として考えることができる。</p>	<p>○本編教材は、第1学年は34編、第2学年～第6学年は35編ある。</p> <p>○別冊ノートの扱いはない。</p> <p>○発展として「こころのパスポート」があり、教材を通して考えを深めることができる。（例：第1学年「あかるい あいさつ」→「やってみよう あいさつりレー」 P13）</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○教材と道徳ノートに全て二次元コードが付いている。</p> <p>○教材に登場する主要人物の挿絵がある。</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○写真の掲載量が多く、挿絵が目を引き構成である。</p> <p>○思考ツールや、ノートの書き方例などを紹介するページが巻頭にある。</p>	<p>○環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、ユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>○各教材の主題が教材の冒頭にない。</p> <p>○見開き2ページを使用した写真（第1学年「みんなあかちゃんだったよ」P36）がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○教科書はAB版である。</p> <p>○各教材のスタートが全て見開きになっている。</p>	<p>○教科書はAB版である。</p> <p>○巻末に「学びの足あと」として、授業の記録を短く表にまとめられるページがある。</p>	<p>○教科書はAB版である。</p> <p>○巻末の目次は、教材の主題名だけでなく、デジタルコンテンツも一覧になっている。</p>